

「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」の取組成果等について

(一社) 全国建設産業団体連合会 (建産連)

当連合会に加盟する各府県団体における主な取組については、以下のとおり(過去10年間)

●けんせつ小町部会等(岩手県)

2017年度から岩手県が立ち上げた「けんせつ小町部会」の事業として、直近の2023年度では、建設業協会とともに女性活躍推進講座、森岡工業高校との意見交換会を実施したほか、建設業女性協議会各支部において、地域における社会貢献活動など協議会活動を積極的に行っている。

●ふくしま女性活躍応援会議(福島県)

2016年7月より県内の様々な分野の団体の長により運営され、官民一体となってあらゆる分野で女性が活躍できる環境づくりに取り組んでおり、セミナーの開催、アドバイザー派遣、出前講座等を行っている。直近の2023年度では、建設業協会とともに「ふくしま女性活躍推進シンポジウム」を開催した。

●ながさき建設女子ネットワーク「よりより」(長崎県)

2016年度から、産・官・学の各分野から選ばれた「女性活躍推進検討ワーキンググループ」13名が中心となり、女性が働きやすい建設業を目指し、今後の取組等を検討している。建設業協会とともに、この取組に基づき、県内の女性技術者・技能者による「ながさき建設女子ネットワーク」が誕生し、現在96名が登録している。女性技術者等が「寄ってきて」良い仕事ができるように願いを込めて愛称を“よりより”として様々な活動を行っており、近年では、2022年度にワーキング会議を2度開催して意見交換を行い、2023年1月には「現場見学会＆交流会」を開催し約50名が参加した。このほか、同年の「ながさき建設創意工夫コンテスト2023」では、セミナーにおいて女性活躍の事例を女性建設ディレクターが発表する等の取組も行っている。

●上記以外の各団体の取組について

2015年から2019年にかけて、埼玉県、三重県、滋賀県等において、建設産業で働く女性同士の交流、職域拡大・定着を進めるための意見交換会、セミナー及び研修会を実施したが、ネットワークの立ち上げ以降は、当該ネットワークに運営を任せていること、コロナ過の影響により交流が停止したこと、2024年問題への対応が本格化したこと等により、活動が縮小もしくは停止しているようである。